

1 目的 県内市町教育支援センター及びフリースクールを訪問して関係職員への聞き取りを行い、市町教育支援センター及びフリースクールの状況や課題を把握し、今後の不登校総合対策の検討に資する。

2 調査施設

- 県内7つの市町教育支援センター
 - ・県央・県南・県北・県西・県東からそれぞれ1市の教育支援センターを調査(県央地区は1市3施設)
- 県内8つのフリースクール
 - ・「とちぎ多様な学び場居場所 MAP」に掲載されているフリースクール

3 調査結果

- 利用対象者:教育支援センターは小・中学生が対象。フリースクールでは小・中学生以外に高校生を対象としている施設もある。
- 開所日時:教育支援センターは、平日のみ。フリースクールは、土日も含め週2~4日、不定期、午後のみなど多様である。
 開所時刻は、教育支援センターは9時台、フリースクールは9~10時台が多い。
 閉所時刻は、教育支援センターは15時台、フリースクールは14~15時台が多い。
- 職員:教育支援センター・フリースクール共に5人未満の職員で運営している施設が多い。ボランティアを活用している施設もある。
 いずれのフリースクールにも、公認心理師、保育士、作業療法士、教員免許等の職務に関連する資格を有する職員がいる。
- 登録利用者数:教育支援センターが約10人~70人。フリースクールは数人~約20人が多い。
- 立地等:教育支援センター・フリースクール共に、市街地にあることが多い。野外活動を重視しているフリースクールは山間部にある。
 教育支援センター・フリースクール共に、単独の建物を利用している施設と、ビル等の建物の一部を利用している施設が半々。
- 活動内容

(教育支援センター)

- ・ 学習に取り組む時間と体験活動に取り組む時間を設けている。
- ・ 学習支援は、児童生徒自身が決めた内容を個別のスペースで行っている。段階的に数人同時での学習に取り組むこともある。
- ・ 体験活動は、スポーツや室内ゲーム、音楽、調理、園芸等様々な活動をボランティアや地域の協力を得て実施している。
- ・ 学校と定期的に文書で情報共有。ICTを活用している施設もある。
- ・ 保護者懇談等を行い、保護者との連携や支援に取り組んでいる。
- ・ 仮想空間(メタバース空間)でのオンライン支援や、体験活動での作品の販売等、各市町の実態に応じた工夫がされている。

(フリースクール)

- ・ 施設や設備、活動内容等を工夫し、児童生徒が過ごしやすい居場所としての機能を充実させている。
 - ・ 学習支援は、児童生徒が決めた内容を個別に対応している。
 - ・ 保護者の申し出により学校と情報共有し、出席認定を受けている。
 - ・ 施設の考え方により、特徴的な取組を行っている。
- (例)○ 高齢者など異年齢との交流の充実
- 野外体験を中心とした活動
 - 放課後デイサービスの融合的な利用
 - 保護者支援(SNS や来所相談等)

○ 施設職員が課題に感じていること

- ・ 教育委員会、学校等との連携(教育支援センター)(フリースクール)
 - 学校によって対応に差(教育支援センター)
 - 教員や教育支援センター職員、フリースクール職員、保護者等が情報交換のできる場が必要(フリースクール)
- ・ 保護者の送迎(教育支援センター)(フリースクール)
 - 通所する区域が広く、保護者の送迎が負担
- ・ 利用者の増加(教育支援センター)(フリースクール)
 - 施設・設備、人員の不足(教育支援センター)
 - 現在の支援体制に当てはまらないニーズへの対応(教育支援センター)
 - 地域によってはフリースクールがない(フリースクール)
- ・ 施設の周知(フリースクール)
 - 教員や保護者がどのような施設があるかを知らない
- ・ 資金面(フリースクール)
 - 運営資金の調達が困難。利用料が高額になり、保護者の負担が大きい。



- ◎ 教員や保護者がどのような施設があるか知らないこと課題。フリースクールは学校を通しての周知に困難を感じている。
- ◎ 教育委員会や教員、教育支援センター、フリースクール、保護者等の関係者の連携が十分でないことが課題
- ◎ 利用者の増加に伴い、現在の施設や人員、支援体制での対応が困難になってきていることが課題
- ◎ 送迎や利用料などの保護者の負担感が課題。フリースクールは資金調達に困難を感じている。

4 参考

○対象校種

	対象校種		
	小学校	中学校	高校
市町教育支援センター(7施設中)	7	7	0
フリースクール(8施設中)	8	8	4

小中学生が対象。フリースクールでは高校生を対象としている施設がある。

○登録利用者数

	利用者数							同時利用	
	1~5人	約10人	約20人	約30人	約40人	約50人	約70人	1~5人	約10人
市町教育支援センター(7施設中)	0	1	2	0	1	1	2	0	8
フリースクール(8施設中)	3	1	2	1	0	1	0	3	5

教育支援センターは約10人~70人。フリースクールは数人から約20人の施設が多い。

○開所日・時間

	開設日					開設時間	
	平日			土日	不定期	終日	午後のみ
	5日	4日	2日				
市町教育支援センター(7施設中)	7	0	0	0	0	7	0
フリースクール(8施設中)	3	3	1	3	1	6	1

教育支援センターは平日のみ開所している。

フリースクールは、平日週2~5日開所。土日開所、不定期開所、午後のみ開所などもある。

○開所・閉所時刻

	開所時刻				閉所時刻			
	9時台	10時台	11時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台
市町教育支援センター(7施設中)	6	1	0	0	1	4	1	1
フリースクール(8施設中)	2	3	1	1	2	3	1	1

開所時刻は、教育支援センターは9時台、フリースクールは9～10時台が多い。
閉所時刻は、教育支援センターは15時台、フリースクールは14～15時台が多い。

○職員

	人数(ボランティア以外)				ボランティア活用
	1～5人	6～10人	11～20人	20～30人	
市町教育支援センター(7施設中)	4	1	1	1	2
フリースクール(8施設中)	6	1	1	0	3

5人未満の職員で運営している施設が多い。ボランティアを活用している施設もある。

○職員の有資格等

	公認心理師	保育士	作業療法士	理学療法士	介護福祉士	社会福祉士	言語聴覚士	教員免許
フリースクール(8施設中)	2	2	2	1	1	1	1	5

いずれのフリースクールにも、公認心理師、保育士、作業療法士、教員免許等の職務に関連する資格を有する職員がいる。

○入居状況

	市施設の一部 (教委のみ)	市施設の一部 (他部局あり)	単独	民間施設の一部	拠点施設なし
教育支援センター(7施設中)	3	1	3		
フリースクール(8施設中)			4	3	1

単独の建物を利用している施設と、ビル等の建物の一部を利用している施設が半々。